

第5分科会石川支部 ワークシート(セッション2)

学校のスタッフとして生き生きと働く！ ～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。
なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

【タイトル】 学校集金の口座振替移行による現金事故のリスク・事務負担軽減のとりくみ (H30～R2年度)

【背景と目標】 H30年度着任時、学級数34学級（児童数923名）の大規模小学校。毎月の現金集金額は200万円を超え、口座振替移行は懸案事項となっていた。着任1年目に現金事故のリスクと学級担任の事務負担軽減のために学校集金の口座振替移行を提案し、年次計画を立てながら職員間で連携し、3年目で口座振替に移行した。

【協働・取組】 1年次：① 教務・学年主任会で口座振替移行を提案・了承
② 職員会議で提案了承
③ PTA常任委員会で趣旨説明・了承
2年次：① PTA総会で学校長が提案・了承（説明資料資料作成）
② 在校生保護者宛通知作成（口座開設・事務手続依頼）
③ 保護者対応（事務手続き等の問い合わせ対応等）
④ 新入生入学説明会時の説明・資料作成
⑤ データ登録（事務職員、学年職員、SSS）
⑥ 関係業者へネットバンクによる支払いを周知
3年次：① 口座振替移行（振替不能家庭通知等作成）
② 例月の振替データ登録作業（各学年の会計係）との連携

並行して、中学校区、近隣ブロックの口座振替未実施校も移行することに。金融機関を招いて説明を受ける機会を設定。複数校で情報交換し、協力しながら移行を進めていった。

【成果と課題】 ○ 口座振替移行により現金事故のリスク及び学級担任の事務負担は大幅に軽減
● 学年会計担当者の事務負担は依然として大きい（毎月のデータ登録、確認作業等）
◇ 事務職員と教員の役割分担（業務の再配分）は課題として残った

【教訓】 学校内の連携・協働とともに学校間の連携・協働が大きな力となった。

- (参考例) ① GIGAスクール、ICT機器を使った実践
② コミュニティ・スクール、地域連携の実践
③ 環境整備の実践
④ 業務改善（教職員の負担軽減）の実践
⑤ 財務（予算要求、保護者負担軽減）に関する実践

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

① 実践の自分の満足度	1	2	3	4	5
② 実践への周りの反応	1	2	3	4	5